

常盤毎日新聞

定価 一紙五銭 一月一元五角 半年七元五角 一年十四元
 廣告料 五銭 十二字 一行 五銭 五折 控
 日曜 祭日 休刊
 発行所 常盤毎日新聞社 川崎 文
 電話 六三〇
 印刷所 常盤毎日印刷株式会社 川崎 文
 電話 六三〇

賀状取扱に就て

平郵便局長

一、年賀郵便特別取扱は次の方法に依り特別取扱を致します。
 一、特別取扱を為す期間は十二月二十日より同二十九日迄にして郵便物は書状、葉書及開封としたる名刺(謹賀新年)等四字以内の祝賀文を筆書支なし、特別取扱を受ける為には「年賀郵便」と書いた紙札を年賀状に乗せ十文字に堅く結んで及寄郵便局ポストに御出下さい。
 二、特別取扱を利用せられますと年賀状に一月一日の引受日附印を押捺して元旦早々から受取人に配達致します。殊に本年からは新年に應じ、特殊圖案入り日附印を使用致します。(三十日以後に差出のものには使用しません)
 三、本年度から年賀用の特別切手(渡邊華山の筆になる富岳の圖案を配した壹銭五厘切手)を發行せられ特別取扱となす年賀郵便にかぎり使用することが出来ず。但し一般郵便物には明年一月一日より使用のこと。
 四、年末首に於ける御急ぎの一般郵便物差出方。

年末首には郵便物がこみますので郵便葉書無封書状は十二月三十一日から翌年一月五日までの間は平素の様に引受局から配達局へ直送せず一旦指定の郵便局に集中せしめてから名宛道府縣下の特定の郵便局へ送達し其處から配達いたしますので多少遅れますが同期間中の御急ぎの通信は有封書状か封印葉書を御利用下さい。又十二月三十日から翌年一月五日までの間

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

【朝】味噌汁 ほうれん草 小付 里豆
 【晝】魚のから揚げ 大根 せん切り
 【晩】五目ずし 蓮根 推茸 かんぴょう

は停車場の郵便函に御投入の郵便物は總て一旦當郵便局に持戻りますから御急ぎの方は直接當局へ御出し下さい。
 三、年末と小包郵便差出に就て
 年末には贈答品等で小包が非常に幅狭致しますから荷造堅固に宛名は確りと御記載御早く御差出下さい。
 四、年賀電報に就て

十二月二十五日から翌年一月六日迄一般電報取扱局所で取扱致します。本年よりは取扱区域の擴張特殊送達紙三種、祝賀文例十四種等に改善せられ殊に祝賀文例には商用向等を加へられ一層皆様の御期待に副ふ事になりましたから年頭の御挨拶には是非御利用下さい。
 五、宛名の記載方に就て
 殊に宛名は詳しく道府縣町村大字小字番地肩書等は省略することなく又停車場の驛名は(何々線何々驛)とせず道府縣都市町村名を附記せらるゝ様
 六、門標の掲出方切望
 年末首には郵便物、電報等の配達に非常に幅狭致しますので臨時者を配達に使役する關係上通達や誤達を未然にし又他人の迷惑をも防止する為めにも此際是非門標の御掲出を切望致します。以上

看護婦急派 求めに應じます

平町南町 平看護婦會 電話三〇七

1936年 新年エハガキ賣出し

ミツキーの可愛い、友情こもる スマートな 格安な 各種澤山入荷しました。

◎年賀状はお早く◎
 クリスマスのプレゼント用品とお正月のお楽しみ用品陳列

平町前 いづみや玩具店

是非!

御融通には御用命下さい 萬事便利な御相談に應じます

三井質店 平。四電六〇六番

和漆器家具は 和全屋

平町南町 電話三〇七

玉屋洋品店 平町田町 電話六五六番



開院 五十嵐産科醫院

平町新川町一二 醫學博士 五十嵐雄二 電話三七〇番 (入院應需)

藤沼醫院

平町紺屋町 電話五〇七番

内科 小兒科 花柳病科

ほねつぎ 桑原柔道整骨院

平町南町下電話六七四

吸入用酸素純度 99%

モノサシ 体温計 重量計 寒暖計

秤ノ取緒。垂糸。修繕致シマス

関内薬局 電話四〇番

寫真材料一式販賣致シマス

飢える極貧者

昨年より増加か

平町歳末救護活動開始

昨報一平町は同情週間にかける寄附募集活動を十二日より開始十五日締切つたが現金総額二百六十餘圓で愈々歳末極貧者の救済を實施することになった因に昨年度要救護者は九四戸三三八人であつたが本年は更に不況の連鎖で幾分の増加を見るものと思はれるが役場當局は之が徹底的救済に乗り出すことになつた

殺人的寒氣

零下四度三分

街に凍死者も出る
型破りは五度四分

平地方の寒氣は愈々本格的となつて毎夜降霜を見せ街頭にルンペンの冷死者を出した殺人的寒氣が襲つて水銀柱はグン／＼低下し農事試験分場で調査した今朝の氣温は零下四度二分去る十一日には本冬最初の最低温五度四分を示し例年より三度低く昨年同期よりも一度六分低下して居るので街頭の舗道は勿論一般家庭の手洗水迄凍る次第があるが寒さの早い年は景氣が良く市民は負けん氣を出してフウ／＼して居る

平驛を護る

防火隊

廿七日作業演習
平驛では今回驛員百五十四名の防火隊を組織し各係は機械係が七十七名搬出係は四十名看視係二十六名、救護係十一名で本月廿七日午前十時から第一回の作業演習を行ふと

警部補派出所

湯本町提案

町勢繁盛で緊急と
湯本町は本縣會に蓮沼龍輔小野晋平兩縣議から同町警部補派出所設置案を提案してゐるが同町は現在人口約二萬、隣接磐崎村に於ける炭礦擴張は一層之れが拍車をかけて町勢急速なる發展を見つゝあるを以て警察事務上より見るも緊要であり他而温泉地に加へて炭礦地帯でもあるため人事の移動も多く警察事務頗る繁盛

なるを以つて速かに警部補派出所を設置し萬全を期せられたいと云ふのである

黒石中佐の教練査閲

平第一校で舉行

福島聯隊區黒石中佐の平町青年學校並に飯野同校の教練査閲は今十八日平第一校で執行午前九時一同整列篠山校長の訓示、國旗掲揚、

待機の平局

年賀受付注意

能率増進に苦進

既報一年末繁忙期の準備に大童への平郵便局では廿日の年賀郵便受付日も迫つたので本十七日から市内主要道路のポスト十ヶ所にボスター代用の掲示板を掲げ「年賀状はお早く願ひます特別取扱は廿日から廿九日迄です」と一般へ注意して居るが尚同局では期間中局員に作業帽を支給する等局

畜牛健康診断

同時に牛の移轉禁止
郡下町村の畜牛結核豫防の爲め昨日は近く左記日割で畜牛健康診断を行ひ同時に牛の移轉を禁止する
△四倉一月十三日—二月十日
△草野一月十四日

帝展二回入選

日本畫の鬼才

磐女後任教諭に

西一郎氏に決定し今十七日新式を行つた、同氏は岡山縣出身昭和七年東京美術學校日本畫科卒業後日本畫の大家結城素明氏の下に研鑽し帝展には最、難關とされる日本畫部に在學中卒業後に各方面入選、國際美術展其他に入選した等輝やかしの成績を残し將來を刮目されてる少壯畫家で同氏の就任により磐陽畫壇に一層の精彩を加へられるものと期待されてる

御眞影奉安殿禮拜、黒石中佐、挨拶に次ぎ閱兵各個中隊査閲戰術教練査閲執行官講評あり午後二時終了した尚十八日は好間校庭で執行の筈

佐藤代議士の視察講演會

小名濱町は本十七日午後二時より同町小學校に佐藤代議士の歐米視察講演會を開催終つて觀迎會を開くと

地主協議

凶作激甚の山間村

天候不順と降雨に災されて昨年に次ぐ税有の大減收を來した本郡山間部地方の稲作は箕輪村でも被害甚だしく今回小作人側から地主に對して小作料減免運動あつたため同村地主は本日地主鈴木方に參集小作料減免に就いて協議した

農事特別傳習

神谷農事試驗場は明年一月九日特別傳習會を開き齊藤分場所が果樹栽培に就いて講演する

訓盲院に寄附

小名濱小學校は西山校長始職員並に全校児童から豫、募集中だ寄附金が廿四圓に達したのでこの程平町警部補派出所、同校經營費の一部にと寄附した

平町人事

回婚 姻
△二丁目二〇 大村一郎氏
(三五)高久村下高久宇川和久一四六 箱崎トヒさん
(二五)
回死 亡
△五丁目一〇 當時双葉郡八ヶ濱町字南町四六 草野サイ子さん(一ツ)

名畫觀賞の夕

いよいよ今晚と明晩本館で開かれます。御婦人方は女性である誇り、母となる誇りのためにも是非「母の手」だけは御見逃し遊ばすな！「商船テナシチ」は藝術映畫の最高峯。またお子様方にはシャリィ・テンブルの「可愛いマーカちゃん」がごいます。前賣券は左の各店が発賣して居ります。三十錢です。

- 才穂小路—魁文堂書店 土橋—まんまん商店
- 一丁目—常盤屋時計店 二丁目—菊屋樂器店
- 三丁目—地球堂書店 同 理髮 東京
- 同 大谷時計店 四丁目—マルモ書店
- 五丁目—アヅマヤ商店 田町—大
- 同 イワキサロン 同 カフエーコンパル
- 公園下—佐々木書店 長橋—宮崎理髮店

西村屋藥舖

藥劑師 鈴木堅助
電話 三三三番
振替 東京六・二九九
仙臺一・二〇一

季節料理

よせなへ

- かきなべ 三〇
- はもなべ 同
- いななべ 同
- ねぎまなべ 同
- あんななべ 同
- ちりなべ 三〇
- あなこりなべ 三〇
- たらちりなべ 同
- 酢のもの 二〇
- 等々始めました何卒御試下さい

魚清食堂

平二警察署裏通り
御祝儀 御法事仕出し
廉價に御引受け致します

妻い大漁景氣 街にヒラ／＼

亂れ飛ぶ百圓札

である

歳末期になつて各官公署方面のボーナス亂れ飛んで華やかな不則景氣を地方は見せてゐるが本夏以來秋刀魚鱒と豊漁に次ぐ豊漁で有封に入る海岸地方の景氣は物凄く大漁でホクホクの船主や漁夫の懐具合の影況で小名濱向に最近紙幣の洪水だ札 札サツ目か廻る絢爛の札タバは人ごとでも嬉しい風景だ、豫金者の五割は船主關係で三割か舟乗りとあり残る僅かな二割がなんと官公社員と商人諸君の階級と来て此の處漁業關係者大萬歳だあと一句半で三五年を送る師走進行曲も此處濱地方ばかりは朗らかな年越

悪天候で 新米出廻りす

検査米三割減

石城地方の農家は冷害のため稲の刈取りが例年より約一ヶ月遅れとなりまだ米の調製にとりかゝらないのに數日前初雪に見舞はれてから引續き天候が回復しないので仕事が進まず、遅れるとて弱り切つてゐるが、こんな關係で新米の出廻りが少く平穀物検査所管内における生産米の受檢數量からみると昨年にくらべ約三割方減少してゐる

忘年會の豪華版 二十圓會費

清水組植田町で

錦村昭和人絹上場の増築工事々々請負つて居る清水組は今十七日植田町料亭みどり忘年會を開くが一人當りの會費は實に二十圓と云ふ豪華さ數ある那下の忘年會の記録破りだけに引受けた料理屋では料理の献立に悩んで居ると云ふ

吉田茂作(四)同意代治(七)

廣告料詐取 赤井村

この程一先づ病院から手を引く事となつたため或は共済病院は立ち消えになるのではないかと見られてゐるが事務局長鈴木富雄氏等の奔走で後任經營者が大体決定したので石山博士以外の醫師職員等はそのまま居居はり經營を繼續すると

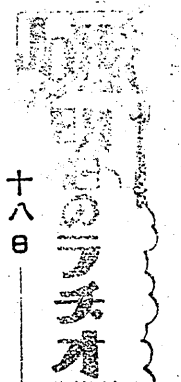
常習子僧 またも逃走

三阪村大字上三阪農佐吉次男藤太郎は八年九月以來半町七丁目大工職片寄晋一(假名)方に徒弟奉公中二、三回實家に逃げ歸りその都度引戻されて稼いでゐたが

東北地方の先驅 轉向者結成の機運

平自營會の大乗的英斷
廿二日轉向聲明座談會

平自營會が赤の轉向者を起用して刑務所の製紙販賣を爲すことになつたのは既報の如くであるが之は三、一五並に四、一六事件として國際的共產黨に加盟暗躍中逮捕されて終刑した本郡山代吉宗(三)二片榮司(三)白土五郎(三)大井川基司(三)の轉向者が過日本縣警察部を訪れて松本特高課長と懇談、轉向後の苦しい立場を述べて何等か本縣並に東北地方一帯に轉向者更生會を結成するため本縣が先驅となり轉向者の指導的立場に立つて貰ひたいと話した結果、更生會資金としては炭



明日の部

- 後六、〇〇 子供の時間
- 「物の始まり船」西村真次
- 後六、二五 青年の時間
- 「ワシントン」の青年時代
- 今井登志喜
- 後七、三〇 講演「伊エ紛争和協試案就て」米田
- 後八、〇〇 合唱 福島混

久間原 前七、三〇 朝の修養「イエスの宗教」石橋智信
前八、〇〇 母の時間
「結核の早期診断について」熊谷登藏
後八、〇〇 落語「牛の丸」薬「翁家」人馬
後八、〇〇 家庭講座「朝飯の栄養」堀原三郎
後八、二五 学生「時間」高二國語 朗吟とお話
「歴史を詠んだ和歌」伴澤波陰
後九、〇〇 教師の時間
「我が校に於ける児童衛生について」明石一郎

田舎は嫌と 炭礦女出奔

盆踊の馴染誘拐

湯本町大字入山炭礦地内坑夫長屋居住同炭礦坑夫儀之助義妹松島ハルミ(一八)は去る八月中盆踊の際知り合ひになつたスマートなやぐざ風の男に夢中になつてゐたが十六日夕刻街に活動を見に行くと出て来ず歸宅せず朋輩に不斷から東京方面

平裁判たより

△双葉郡廣野村大字折木字上原七六農渡邊倉藏(四七)は去る九月二十五日午後十時町獄室の爐火を不始末の儘就寝し明廿六日午前二時頃發火し主家一棟を全焼し失火罪で略式罰金三十圓を今十七日より言渡された

騙られた酌婦 恐喝のやくざ餘罪

悪どい不良の稼き振り

小川村大字上小川字植之内居住伊達郡富野村大字八幡生れ八巻イコ(三三)は元酌婦稼きをして居る内去る八月中湯本町周旋業高木某の周旋で伊達郡長岡村料理業阿部屋方より内郷村大字宮

後六、〇〇 子供の時間
兒童劇「子供は可愛かられる」仙臺東二番丁小學兒童
後六、二五 基礎英語講座
岡倉由三郎
後七、三〇 講演「昭和十年の展望」科學界 加茂正雄
後八、〇〇 長唄「多摩川」中村六廣他
後八、二五 獨唱と二重唱
藤原義江 齊田愛子
後八、五五 浪芳節「藪檢校」木村友信

平職業紹介所報告

- △人を求める方
食堂女中 廿二才迄 月給十圓外チップ
トラック助手 廿才前後 月給十圓
運送店員 卅才迄 日給七十錢
△女中 廿才迄 月給三圓
△探炭夫 卅才迄 月給一圓
△出前持 廿才迄 月給六圓
△職を求める方
集金人 卅四才 中三修
料理人 卅五才 尋卒
鐵工 十八才 尋卒
同 十七才 高卒

上田病院

平町 南町
電話一二九番

